

伊丹の文化とスポーツをナビゲート

アイテム

vol.101

2021 8 9 10 11 月号

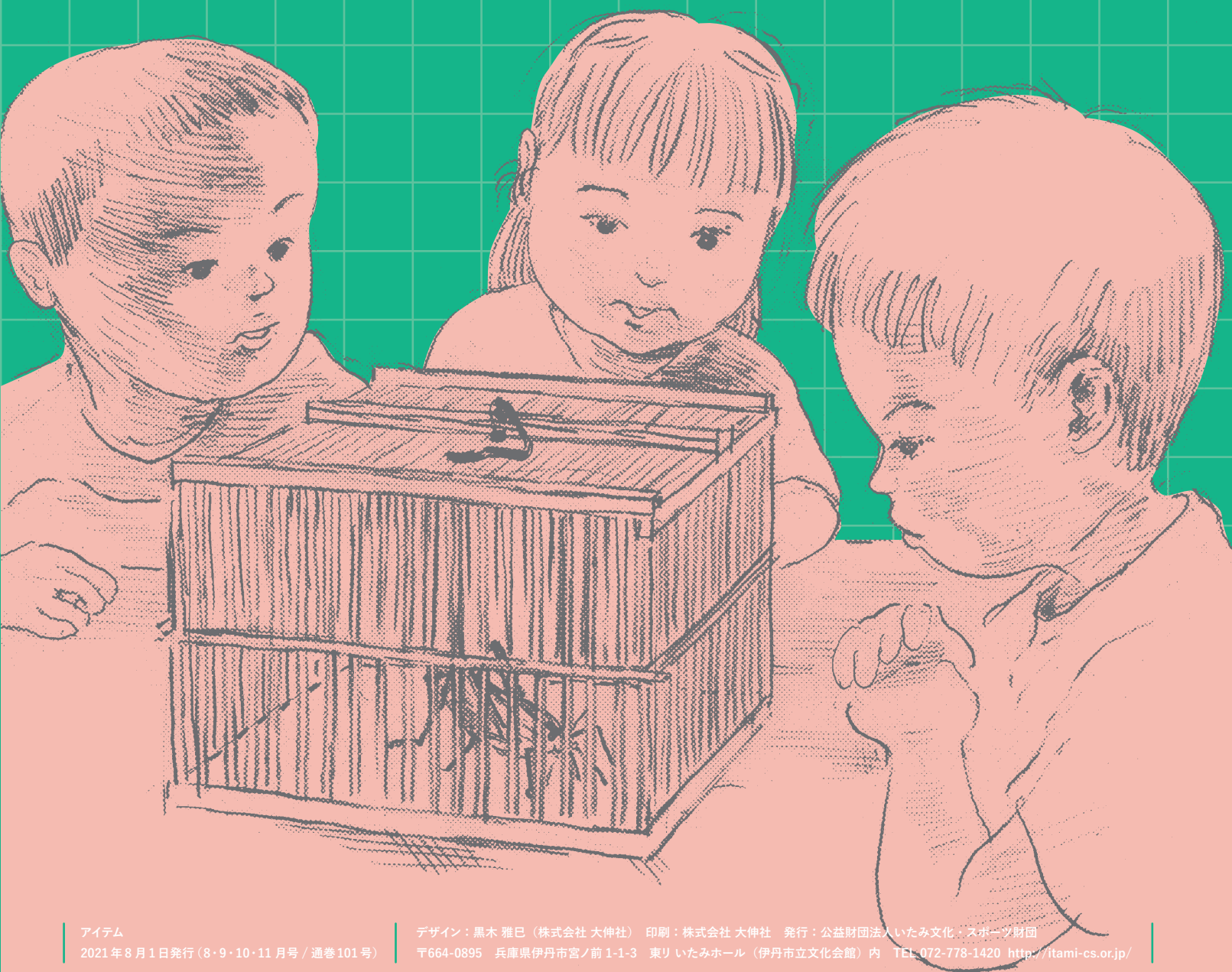
自由にお持ち下さい

Take
Free

公益財団法人 いたみ文化・スポーツ財団

鳴く虫と郷町

まちを散策し、
虫の音とともに秋を楽しむ



アイテム

2021年8月1日発行(8・9・10・11月号/通巻101号)

デザイン: 黒木 雅巳(株式会社 大伸社) 印刷: 株式会社 大伸社 発行: 公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前 1-1-3 東リ いたみホール(伊丹市立文化会館)内 TEL 072-778-1420 <http://itami-cs.or.jp/>

< 鳴く虫と郷町関連企画 >

桂米朝一門 いたみ寄席 長講の会

後半に桂塩鯛が1時間強の長講「帯久」を演じます！
他出演、桂歌之助、桂鯛蔵、桂弥彦。

9月10日(金)18:30～

料金：2,000円(当日2,200円)/全席自由 ※入場整理番号付き
会場：多目的ホール ※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。



ワンコインコンサートシリーズ vol.7

タンゴ・クルサード 新タンゴ四重奏団

古典タンゴから、知られざる名曲、歴史を変えたピアノの作品まで、多彩で奥深いタンゴの魅力をお届けします。

9月24日(金)19:00～

料金：500円/全席自由 ※入場整理番号付き
会場：中ホール



オカリナ & マリンバ デュオ

「森の詩 Autumn Concert」

自然から生み出された2つの楽器によるクラシックや唱歌など、様々なジャンルの曲を独自のアレンジでお届けします。

10月21日(木)19:00～

料金：2,000円/全席自由 ※入場整理番号付き 会場：中ホール
※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。



東リ いたみホール (伊丹市立文化会館)

伊丹市宮ノ前1-1-3 TEL 072-778-8788 <http://itami-cs.or.jp/itamihall/>

休館日＝火曜日(祝日の場合は開館、翌平日休館)
開館時間＝9:00～22:00(受付・利用は21:30まで)

■JR伊丹駅より西へ徒歩約8分 ■阪急伊丹駅より北へ徒歩約3分

伊丹アイフォニックホールのメインホールで ピアノ(スタインウェイ)を弾いてみよう!

メインホールを贅沢に貸し切って、グランドピアノ(スタインウェイ)をステージ上で演奏しませんか? ピアノと他の楽器などとのアンサンブルも可能です。



8月23日(月)・24日(火)・26日(木)・

30日(月)・31日(火) 10:00～19:00

※8月24日(火)・31日(火)は10:00～18:00

料金：1時間3,000円/10名まで 会場：メインホール
※1時間単位での貸出になります。1日あたり連続した3時間まで。
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用者の入れ替わり毎に30分の換気を行います。

文化サロン「話題探訪」トーク&コンサート

「韓国の語り芸・パンソリを楽しもう!」

扇子を手に歌い語る唱者と、太鼓を打つ伴奏者が物語を紡ぐ韓国の語り芸「パンソリ」の魅力と、豊かな物語の世界を日本語字幕入りでお楽しみください。

※延期となった5月10日分の振替公演です。



11月8日(月)19:00～

料金：1,500円 会場：東リ いたみホール 6階 中ホール 講師：安聖民(パンソリ唱者)

伊丹アイフォニックホール (伊丹市立音楽ホール)

伊丹市宮ノ前1-3-30 TEL 072-780-2110 <http://aiphonic.jp/>

休館日＝水曜日(祝日の場合は開館、翌平日休館)

開館時間＝9:00～22:00

■JR伊丹駅より西へ徒歩約7分 ■阪急伊丹駅より北へ徒歩約4分

「みんなの劇場」こどもプログラム

いいむろなおきカンパニー『かえるの? 王子さま』

バントマイムのあの手の手をたっぷりつめこんだ、スピード感あふれるこども向け無言劇がアイホールに再登場。ご家族みんなでご来場ください。

8月7日(土)11:00～/15:00～、

8日(日)11:00～/15:00～

料金：大人2,000円(当日2,500円)、
こども(3歳以上中学生以下)1,000円(当日1,500円)

会場：イベントホール



AI・HALL リーディング『ジハード —Djihad—』

ベルギーの移民コミュニティで育った若者は、なぜジハード(聖戦)に加担してしまうのか。話題の青春群像劇をドラマ・リーディング形式で上演します。

9月26日(日)11:00～/15:30～

料金：一般1,800円(当日2,200円)、18歳以下500円(前売・当日とも)
会場：イベントホール

九雀の噺～in いたみ～

噺家・桂九雀がプロデュースする落語会がアイホールに初登場。落語に色物、落語を題材にした「噺劇(はなしげき)」などバラエティに富んだ会をお楽しみに。

10月16日(土)14:00～

料金：3,500円 会場：イベントホール



撮影：佐藤 浩

アイホール (伊丹市立演劇ホール)

伊丹市伊丹2-4-1 TEL 072-782-2000 <http://www.aihall.com/>

休館日＝火曜日

開館時間＝9:00～22:00

■JR伊丹駅前/阪急伊丹駅より東へ徒歩約10分

夏休み子ども特集

マジック・自然工作・クラフト・篆刻・プログラミング・星空観察・ストリートダンスなどの全18講座を開催します。夏休みの思い出作りにいかがですか。

夏休み期間中

開催日時、料金など詳細はお問い合わせください。



マジシャンそうたのマジック教室&ミニショー

ラスト☆サマーコンサート 2021

ハワイアンフラ講座の受講生とギターサークル「むげん」の発表会。フラダンスと美しいギターの音色でゆったりとしたひとときをお楽しみください。

8月28日(土)14:00～

料金：無料 会場：2階 多目的ホール



ラストホール (伊丹市立生涯学習センター)

伊丹市南野2-3-25 TEL 072-781-8877 <https://lustrehall.com/>

休館日＝火曜日(祝日の場合は開館、翌平日休館)

開館時間＝9:00～21:00(月～土) 9:00～17:00(日祝)

■JR伊丹駅および阪急伊丹駅より伊丹市バス系統(37) 阪急塚口行

「稲野町8丁目」バス停下車徒歩1分

■阪急神戸線塚口駅北側出口より伊丹市バス系統(37) 阪急伊丹・JR伊丹行、もしくは系統(40) 三師団交通局前行、いずれも「ラストホール前」下車すぐ。

■阪急稲野駅より西へ徒歩600メートル

特別展「擬態～自然のだまし絵～」

擬態(ぎたい)とは、身を守るために自分の姿や様子をほかのものに似せることです。世界と日本の昆虫たちの素晴らしい擬態の「技」を、楽しくわかりやすく紹介します。

開催中～10月4日(月)

料金：入館料のみ

会場：2階 第2展示室



ランの花にそっくりのハナカマキリ(生態展示予定)

プチ展示「中国の鳴く虫文化」

～周達生コレクションから

コオロギやキリギリスなど鳴く虫の文化は、中国では瓢箪や小箱での飼育、虫同士を闘わせる闘蟋(とうしつ)など、日本とは少し異なります。その様子を元国立民族学博物館名誉教授、周達生氏のコレクションを中心に紹介します。

9月1日(水)～10月25日(月)

料金：入館料のみ

会場：1階特別展示室



周達生コレクションより

伊丹市昆虫館

伊丹市昆陽池3-1 昆陽池公園内

TEL 072-785-3582 <https://www.itakon.com/>

休館日＝火曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)

開館時間＝9:30～16:30(平日)、10:00～16:30(土日祝) ※入館は16:00まで

入館料＝大人400円/中学生200円/3歳～小学生100円/0～2歳は無料

■JR伊丹駅前の4番のりば、もしくは阪急伊丹駅前4番のりばから市バスに乗りし、「松ヶ丘」バス停下車徒歩約12分、もしくは「玉田団地」バス停下車徒歩約2分

スポンジテニス

柔らかく軽いスポンジボールを使って、テニスを楽しみましょう。ボールを打つ力も軽減されるので、テニス未経験の方やスポーツが苦手な方でも楽しくラリーできますよ。

9月4日(土)

料金：500円 会場：体育館競技フロア



親子サッカー

スポーツの秋、家族と一緒にサッカーをしませんか? 親子で楽しめる内容をたくさん取り入れます。

サッカー初心者でも大歓迎! みんなでサッカーを楽しみましょう。

10月9日(土)

料金：500円 会場：陸上競技場

伊丹市立伊丹スポーツセンター

伊丹市鴻池1丁目1-1 TEL 072-783-5613 <http://www.itami-sports.jp/>

休館日＝12/28～1/4

開館時間＝9:00～21:00(季節により異なる)

窓口受付時間＝8:30～20:00

■市バス JR伊丹・阪急伊丹両駅南「2番のりば」から「荒牧バラ公園」方面行きで「スポーツセンター前」バス停下車すぐ

LIBRARY LUSTRE 伊丹市立図書館南分館

伊丹市南野2-3-25(ラストホール内)

TEL 072-781-7333 <http://www.library-lustre.com/>

休館日＝火曜日(祝日の場合は開館、翌平日休館)、毎月末日、特別整理期間

開館時間＝9:30～19:00(月・水～金)、9:30～17:00(土日祝)

MUSEUM OF ART 伊丹市立美術館

伊丹市宮ノ前2-5-20(再整備工事のため長期休館中)

TEL 072-772-7447 <https://www.artmuseum-itami.jp/>

受付時間＝10:00～18:00、火曜日休業(祝日の場合は翌平日)

※東リ いたみホール内仮事務所にて対応

気軽に始める型染入門～ステンシル技法

型染の作業は複雑で、慣れるまでは大変。そこで難しい作業は抜きにして、型染のエッセンスを楽しむステンシル技法に挑戦します。自らデザインした型紙を使い布に直接模様を写す技法で、気軽に染めてみましょう。

10月6日・13日・20日・27日

水曜日(全4回) 10:30～16:30

料金：12,000円(工芸クラブ会員：9,600円)

※材料費2,000円

会場：東リ いたみホール5階 会議室1

講師：北里美絵子(型染作家)



基礎を鍛える! こだわりジュエリー制作

素材同士を繋ぎ止めるなど、ジュエリー制作において必要不可欠な火は使わずに、ジュエリー作りを楽しみましょう。デザイン通りに金属を切る、丁寧にやすりをかけるなどの基礎技術もしっかり身につきます。



11月21日・28日・12月5日・12日

日曜日(全4回) 14:00～16:30

料金：8,000円(工芸クラブ会員：6,400円)

※材料費別途要

会場：東リ いたみホール5階 会議室1

講師：平川文江(ジュエリーデザイナー・伊丹ジュエリーカレッジ講師)

伊丹市立工芸センター

伊丹市宮ノ前2-5-28(再整備工事のため長期休館中)

TEL 072-772-5557 <https://mac-itami.com/>

受付時間＝10:00～18:00、火曜日休業(祝日の場合は翌平日)

※東リ いたみホール内仮事務所にて対応

GOCHOKAN 伊丹市立伊丹郷町館

伊丹市宮ノ前2-5-28(再整備工事のため長期休館中)

TEL 072-772-5959 <http://itami-cs.or.jp/itami-gocho/>

受付時間＝10:00～18:00、火曜日休業(祝日の場合は翌平日)

※東リ いたみホール内仮事務所にて対応

ミニ 財団ニュース

ラストホールの公式マスコットキャラクター、仔猫のラス太くん!

実はラス太くんはラストホールの

地下用水路に迷い込んで

職員に救出された仔猫がモチーフなんです。

今日も元気にラス太くんは

ラストホールのいろんなところに

隠れていますよ♪



まちを散策し、虫の音とともに秋を楽しむ



すっかり伊丹の秋の風物詩となった「鳴く虫と郷町」。江戸時代の庶民の間で、秋の鳴く虫の音色を聴いて楽しむ「虫聴き」が親しまれました。これを現代風にアレンジした「鳴く虫と郷町」を、江戸時代に酒造業で栄えた伊丹郷町界隈を中心に開催します。

例年、会場となってきた伊丹郷町館は再整備工事で休館中ですが、今年も9月10日から19日の10日間、三軒寺前広場の街路樹や東りいたみホール、伊丹市立図書館「ことば蔵」などで鳴く虫の音色を響かせます。童謡「虫のこえ」に登場するスズムシやキリギリスに加え、普段は見る機会の少ない鳴く虫や、伊丹で暮らす鳴く虫などを身近に観察することができます。行灯が灯る街を歩けば、市民や商店などと一緒に取り組んでいる関連企画にもご参加いただけます。

秋の訪れを虫の音とともに楽しみください。

鳴く虫と郷町

日時=9月10日(金)~19日(日)

料金=無料(イベント等によっては有料)

会場=三軒寺前広場、東りいたみホール、伊丹市立図書館「ことば蔵」ほか

【お問い合わせ】

伊丹市昆虫館

TEL 072-785-3582 <http://www.nakumushi.com/>

休館：火曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)

ぶ…はーい！

ぶんたくん…みなみさん、図書館の人の秘密のテクニク(以下ぶ)とか、二子相伝みたいなもの、なんかない？
みなみさん…そうね。学校でも使えるようなブックトークをマスターしてみるのはどうかな？ テーマに沿って本を何冊か紹介するんだけど、自分の一番面白かったポイントを熱く話すと、すめられた人も読みたくなると思っていますよ。では、今日のテーマは「図書館」にしてみようか。



ぶんたくんが みなみさんに
ブックトークをならうことに。

どきどき
ブックトーク 編

ぶんたくんの

としょかんさんぽ

伊丹市立図書館
南分館

み…(キリッとして) まずは、私のバイブル的一冊。

『世界の図書館 美しい知の遺産』

(著)ジェームズ・W・P・キヤンベル 河出書房新社

古代メソポタミアから現代へと、歴史的にも貴重な世界の図書館を写真で旅する本です。

ずっしりと重い本を広げて、1ページずつ大切にめくってみてください。

大聖堂の鎮につながれた本。中世の図書館の調度品のようなレクタートン(書見台)。仏教寺院の荘厳な経典書庫。そのひとつひとつが圧倒的な勢いで迫ってきます。ウィル・ブライスの写真を見ていると、今まさにその場所に立っている気持ちになって本の世界にひきこまれます。

ぶ…みなみさん、カッコいい！ ぼくもやりたい！

み…もう一冊おすすめしたいから少し待ってね。

『夢見る帝国図書館』(著)中島京子 文藝春秋

小説家の(私)が、ふしぎな老婦人に導かれるように帝国図書館から国会図書館への歴史に触れるという物語。図書館が人格を持ち樋口一葉に恋をしたり、建設が何度もとん挫して明治の文化人が暴れたり、思わず笑ってしまいますよ。歴史の部分と現代小説の部分がテンポよく絡み合っていて、つまるところラストシーンには、さすが直木賞作家！と思わずうなづかれます。

ぶ…ぼくも図書館が出てくる好きな本あるよ！

『としょかんライオン』(作)ミシェル・ヌードセン 絵)ケビン・ホークス 岩崎書店

決まりを守るなら誰もが利用できる図書館。お利口なライオンは、走らず静かにお行儀よく「おはなし会」に参加したりお手伝いをしたりすつかり人気者！ だけど、館長のメリウエザーさんを助けるために大声を出してしまい、決まりを破ったからって姿を消してしまうんだ。かわいそうなライオンがどうなっちゃうのか気になったら、ぜひ続きを読んでみてくれ！

み…みなさん、楽しくブックトークしてみてね。